

# 消化器内科

第1週月曜日の集合場所： 研究棟8階 消化器内科医局

(第1週月曜日が休日の場合は、火曜日に上記集合場所へ集合)

集合時間： 9時00分

クラークシップ・ディレクター： 水上 一弘 ( FMC 32528)

アテンディング： 遠藤 美月 ( FMC 32905)

チーフ： 小川 竜 ( FMC 32514)

兒玉 雅明 ( FMC 32506)

荒川 光江 ( FMC 32902)

福田 健介 ( FMC 32203)

岩尾 正雄 ( FMC 32298)

小坂 聡太郎 ( FMC 32523)

内田 宅郎 ( FMC 32436)

平下 有香 ( FMC 32538)

佐上 亮太 ( FMC 32513)

# 消化器内科

## 【一般目標】

消化器内科疾患に対する知識・技能を身につけるために、消化器疾患の症候を呈する患者をとおして、腹部診療手技、疾病の原因、病態、診断、治療法、治療効果の判定に至る思考過程および症例のプレゼンテーション方法を学ぶ。

## 【行動目標】

- ① 消化器疾患を有する患者に対して適切な医療面接ができる。
- ② 入院患者に対して腹部の視診、聴診、打診、触診ができる。
- ③ 腹部超音波検査で腹部臓器を描出することができ、疾患時の所見を説明できる。
- ④ 内視鏡検査（上下部消化管内視鏡、内視鏡的逆行性膵胆管造影：ERCP）の適応を判断し、病変診断ができる。
- ⑤ 単純エックス線検査（胸部、腹部）で診断できる消化器疾患とその所見を列挙できる。
- ⑥ 造影エックス線検査（上部・下部消化管）の適応を判断し、病変診断ができる。
- ⑦ 腹部 CT 検査における正常画像を理解し、主要な消化器疾患の異常所見について説明できる。
- ⑧ 以下の主要な疾患について、病態を理解し、適切な検査、診断、治療法を概説できる。
  - (ア) 消化性潰瘍
  - (イ) 炎症性腸疾患
  - (ウ) 肝疾患（急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌）
  - (エ) *Helicobacter pylori* 感染症
  - (オ) 胃がん、食道がん、大腸がん
  - (カ) 膵がん、胆管がん
  - (キ) 胆石症（胆嚢結石症、総胆管結石症、肝内結石症）
- ⑨ 腹痛の鑑別ができる。
- ⑩ 嘔吐・下痢、吐血・下血の原因を列挙できる。
- ⑪ 黄疸を理解し、病態生理に基づいた肝疾患の鑑別、胆道系疾患の鑑別ができる。

第1週	月	火	水	木	金
8:00~9:00		受け持ち患者診察	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察
9:00~10:00	オリエンテーション 水上 (32528) (研究棟8階消化器内科医局)	病棟実習 (自学自習)	内視鏡検査実習 福田昌 (32540)	9:00~レクチャー 消化性潰瘍 平下(32538) (7西カンファ室)	病棟実習 (自学自習)
10:00~11:00	担当患者紹介 遠藤 (32905)	内視鏡実習 あるいは 病棟実習 (自学自習) 受け持ち患者の診療計画など 平下(32538)		内視鏡検査実習 福田 (32203)	9:15~ レクチャー 肝癌 遠藤(32905) (7西カンファ室)
11:00~12:00	11:00~ レクチャー 腸炎 小坂(32523) (7西カンファ室)		病棟実習 (自学自習)		
昼休み					
13:00~14:00	病棟実習 (自学自習)	病棟実習 (自学自習)	13:00~レクチャー 消化管の内視鏡治療 堤 (32518) (7西カンファ室)	肝生検見学 7西検査室 あるいは RFA見学(手術室) 遠藤 (32905)	病棟実習(自学自習)
14:00~15:00	13:30~ レクチャー 急性肝炎・肝不全・肝硬変 岩尾(32298) (7西カンファ室)		病棟実習 (自学自習)		
15:00~16:00	病棟実習 (自学自習)	内視鏡実習 あるいは 病棟実習(自主学習) 小坂(32523)	ERCP実習(内視鏡室) あるいは 病棟実習(自主学習) 受け持ち患者の疾患に 関する学習 堤 (32518)	14:30~ レクチャー 胃癌 小川(32514) (7西カンファ室)	自学自習
16:00~17:00	15:15~ 新患紹介 7西カンファ室		振り返り	15:15~ 消化器内科カンファレンス 7西カンファ室	
17:00~18:00	回診	振り返り			

第2週	月	火	水	木	金
8:00~9:00		受け持ち患者診察	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察	受け持ち患者診察
9:00~10:00	RFA実習(手術室) (RFAなければ内視鏡実習) 遠藤 (32905) 福田 (32203)	自学自習受け 持ち患者のまとめなど	内視鏡検査実習 福田昌 (32540)	9:00~レクチャー 国際協力活動 福田(32203) (7西カンファ室)	
10:00~11:00		10:30~内視鏡実習 平下(32538)		11:00~ レクチャー AIH/PBC/NASH/アルコール 荒川(32902) (7西カンファ室)	10:00~レクチャー 総復習 水上(32528) (7西カンファ室)
11:00~12:00			内視鏡実習 福田(32203)		試問に向けてのまとめ
昼休み					
13:00~14:00	病棟実習 (自学自習)	採血実習 (内視鏡室)	ERCP実習(内視鏡室) あるいは 病棟実習(自主学習) 受け持ち患者の検査結果 の考察 堤 (32518)	肝生検見学 7西検査室 遠藤 (32905)	13:00~ 消化器内科試問 水上 研究棟8階 医局(内6193)
14:00~15:00	13:30~レクチャー B型肝炎・C型肝炎 内田 (32436) 医局 (6193)	内視鏡実習 あるいは 病棟実習(自主学習) 小坂(32523)		ERCP実習(内視鏡室) あるいは 病棟実習(自主学習) 受け持ち患者の検査結果 の考察 堤 (32518)	14:00~レクチャー 胆・膵の内視鏡診断 佐上(32513) (7西カンファ室)
15:00~16:00	病棟実習 (自学自習)		15:15~新患紹介	休憩	15:15~ 消化器内科カンファレンス (受け持ち患者プレゼン) 7西カンファ室
16:00~17:00	回診	振り返り			
17:00~18:00					

# 学生による**消化器内科**実習の評価 令和 7-8 年度

講座名： 消化器内科 実習期間： 年 月 日～ 月 日

学籍番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

<選択肢>

5：強くそう思う（とても良い） 4：そう思う（良い） 3：どちらとも言えない（普通）  
2：そうは思わない（余り良くない） 1：全くそう思わない（悪い）

## A：実習プログラム、内容、指導医に対する評価

- ① オリエンテーションは実習を行う上で有用であった -----> ( 5 4 3 2 1 )  
② 到達目標、週間スケジュール表は役に立った -----> ( 5 4 3 2 1 )  
③ 指導医は丁寧に、親身になって指導してくれた -----> ( 5 4 3 2 1 )  
④ 指導医は患者・医師関係の規範となる態度を示してくれた --> ( 5 4 3 2 1 )  
⑤ 朝の回診、夕方のフィードバックは有用であった -----> ( 5 4 3 2 1 )  
⑥ 実習期間（2週間）は丁度よかった -----> ( 5 4 3 2 1 )

「2：そうは思わない（余り良くない）」、1：全くそう思わない（悪い）と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

- ⑦ 参加型実習として技能・態度を学ぶ機会が充分あった -----> ( 5 4 3 2 1 )

「2：そうは思わない（余り良くない）」、1：全くそう思わない（悪い）と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

- ⑧ 実習スケジュールは到達目標達成のために効果的だった --> ( 5 4 3 2 1 )

「2：そうは思わない（余り良くない）」、1：全くそう思わない（悪い）と回答した場合のみ

どのようにすれば良いと考えますか？

- ⑨ 総合的にみて、実習は満足するものであった -----> ( 5 4 3 2 1 )

## B：実習態度に対する自己評価

- ① 信頼される髪型・服装・姿勢・態度をとることができた -----> ( 5 4 3 2 1 )  
② 無断欠席・早退せず、決められた時間を厳守できた -----> ( 5 4 3 2 1 )  
③ 患者を尊重し、良好な対人関係を築くことができた -----> ( 5 4 3 2 1 )  
④ 学習意欲を持ち、自ら調べ、指導医と議論することができた --> ( 5 4 3 2 1 )  
⑤ 診療チームの一員として、行動（診療参加）できた -----> ( 5 4 3 2 1 )  
⑥ 各場面で適切なプレゼンテーションを行うことができた -----> ( 5 4 3 2 1 )

### C : 行動目標に対する自己評価

- ① 消化器疾患を有する患者に対して適切な医療面接ができる。 ( 5 4 3 2 1 )
- ② 入院患者に対して腹部の視診、聴診、打診、触診ができる。 ( 5 4 3 2 1 )
- ③ 腹部超音波検査で腹部臓器を描出することができ、疾患時の所見を説明できる。  
( 5 4 3 2 1 )
- ④ 内視鏡検査（上下部消化管内視鏡、内視鏡的逆行性膵胆管造影：ERCP）の適応を判断し、病変診断ができる。  
( 5 4 3 2 1 )
- ⑤ 単純エックス線検査（胸部、腹部）で診断できる消化器疾患とその所見を列挙できる。  
( 5 4 3 2 1 )
- ⑥ 造影エックス線検査（上部・下部消化管）の適応を判断し、病変診断ができる。  
( 5 4 3 2 1 )
- ⑦ 腹部 CT 検査における正常画像を理解し、主要な消化器疾患の異常所見について説明できる。  
( 5 4 3 2 1 )
- ⑧ 以下の主要な疾患について、病態を理解し、適切な検査、診断、治療法を概説できる。
- (ア) 消化性潰瘍 ( 5 4 3 2 1 )
- (イ) 炎症性腸疾患 ( 5 4 3 2 1 )
- (ウ) 肝疾患（急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、肝癌） ( 5 4 3 2 1 )
- (エ) *Helicobacter pylori* 感染症 ( 5 4 3 2 1 )
- (オ) 胃がん、食道がん、大腸がん ( 5 4 3 2 1 )
- (カ) 膵がん、胆管がん ( 5 4 3 2 1 )
- (キ) 胆石症（胆嚢結石症、総胆管結石症、肝内結石症）
- ⑨ 腹痛の鑑別ができる。 ( 5 4 3 2 1 )
- ⑩ 嘔吐・下痢、吐血・下血の原因を列挙できる。 ( 5 4 3 2 1 )
- ⑪ 黄疸を理解し、病態生理に基づいた肝疾患の鑑別、胆道系疾患の鑑別ができる。  
( 5 4 3 2 1 )

### D : 全体評価（自由記載欄）

以下の3項目について記載してください。(3項目とも記載をお願いします)

- 1) この実習で良かった点は何ですか。
- 2) この実習で改善してほしい点がありますか。
- 3) この実習で印象に残ったことは何ですか。

お疲れ様でした。

# クリニカル・クラークシップ評価表（全科共通）

配属先 消化器内科 学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

配属期間 年 月 日 ~ 年 月 日 ( Stage1 ・ Stage2 )

※いずれかに○をしてください。

各診療科等の基本方針（目的・到達目標）、方法（内容・行動指針）等を勘案して、以下の項目で適当と思われる評価を□欄に記載して下さい。

## 1. 出席の評価

- 正当な理由のある欠席を除き、全日程に出席した。
- 無断欠席（早退・離脱）などが1回あった。
- 無断欠席（早退・離脱）などが2回以上あった。

## 2. 実習中の身だしなみ・態度・動作・言葉づかい等

- S     A     B     C     不可

## 3. 問題志向型システム・科学的根拠にもとづいた医療

（基本的診療知識にもとづき、情報を収集・分析できる。得られた情報をもとに、問題点を抽出できる。病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。診断・治療計画が立てられる。科学的根拠にもとづいた医療（EBM）を実践できる等）

- S     A     B     C     不可

## 4. 医療面接

（礼儀正しく患者（家族）に接することができる。プライバシーへの配慮し、患者（家族）との信頼関係を形成できる。医療面接における基本的コミュニケーション技法を実践できる。病歴聴取（主訴、現病歴、既往症、家族歴、社会歴、システムレビュー）を実践できる等）

- S     A     B     C     不可

## 5. 診療記録とプレゼンテーション

（診療録を POMR 形式で記載できる。毎日の所見と治療方針を SOAP 形式で記載できる。受持ちの患者の情報を診療チームに簡潔に説明できる等）

- S     A     B     C     不可

## 6. 当該グループ・科における独自の評価

（基本方針（目的・到達目標）の達成度。方法（内容・行動指針）に沿っての成果。注意事項遵守等）

- S     A     B     C     不可

## 7. 自由記載

( \_\_\_\_\_ )

## 【総合評価】

- S (90点)    A (80点)    B (70点)    C (60点)    再実習    不可 ( \_\_\_\_\_ 点)

(再実習、不可の場合の理由： \_\_\_\_\_ )

年 月 日

評価者氏名

指導医 \_\_\_\_\_

指導責任者（教授等） \_\_\_\_\_